























業種別景況予測

平成24年7月～9月

						
	特に好調	好調	まあまあ	やや不振	不振	きわめて不振
部会	4～6月 (実績)	7～9月 (見通し)	概況			
寝装 リビング			「リーマンショック後の景気回復も一巡し、一進一退が続く」「夏物商品の売行きが不振で秋冬物商品の投入に悪影響が?」「最悪の状況です。どうすればいいか迷っている」「4～5月度の売上が昨対比増、6月単月では減。第一四半期では増。7月以降は先行きが悪くなりそう」などのコメントが寄せられた。			
繊維 ファッション			「全般的には厳しいが特化したモノには反応がある」「夏物商品の販売低調。大手メーカーのセカンドラインによる低価格帯商品、トレンド商品が主流になっている」「東日本震災後よりは若干持ち直しているが、景気上昇の気配はない」「泉大津の発展には、仕入・加工は地元であるのがよいのでは」などのコメントが寄せられた。			
工業			「円高の影響により、輸出契約が厳しい」「先がよめない」「東日本の復興需要が定かではないが、前年より上向きになっているように思う」「復興需要で少しずつ動きが出てきている」「業者間の淘汰が進行している。地場産業の低迷により、全般的に厳しいと思う」などのコメントが寄せられた。			
建設			「全体的には動いている」「リフォーム工事が多くでてきている」「建築設備関連業には景気好転の兆しなし」などのコメントが寄せられた。			
運輸倉庫			「地場産業以外の物流は去年の6～7月と比較し今年の方が悪化している」「在庫量は増加、庫腹は満庫状態であるが出荷状況が悪く、回転率は悪い」「運賃下落の状態。新トラックを購入しても採算が合わない、燃料は少し下落」「前年度と比較し、売上・収益の変化はないが、保管量が増加している」などのコメントが寄せられた。			
金融理財			「来年度、生命保険の標準利率が下がるので、来年3月にかけて駆込み需要が想定される」「需要数は不変だが、供給側よりアイデア・ニーズの先取り、新商品の開発に優れた会社が忙しくしていると思う」「賃貸物件の賃料値引き交渉がでている」「低価格の新築が比較的売れている」などのコメントが寄せられた。			
一般商業			「低い位置で横ばい」「絶不調の商品がだぶり気味。小売店で商品が売れない」「増税の不安感により客数が低下気味」「未だに明るい兆しが見えてこない。消費税の増税によって一段と消費が鈍ると思う」などのコメントが寄せられた。			
サービス業			「LCC(ローコストキャリア)の予約はインターネットで直接予約することが多い為、旅行会社を通じての個人旅行が減っている」「介護業界は法改正により本当に必要な方にとって必要なサービスを受けられないように思う。本来の介護という理念を本気で考えてほしい。早期改善を願う」などのコメントが寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 平成24年7月 ●調査対象企業 254社 ●回答数 117社

寝装リビング 15社 工業 20社 運輸倉庫 16社 一般商業 12社
 繊維ファッション 17社 建設 11社 金融理財 14社 サービス商業 12社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 経営支援部 TEL 0725-23-1111